

会社概要

創業
資本金
代表取締役社長
従業員数
本社
国内拠点

営業所
海外拠点
加盟団体

1954年2月
1,000万円
川田 一力
159名
京都市南区吉祥院堤外町11番地
LED 本社工場 / 昭和工場
P H 拝師工場
東京 / 大阪 / 名古屋 / 福岡 / 仙台
中国蘇州 / 韓国ソウル
一般社団法人 照明学会
一般社団法人 日本照明工業会
一般社団法人 日本ガス石油機器工業会
公益社団法人 大阪府工業協会
一般社団法人 防災安全協会
一般社団法人 日本厨房工業会
公益社団法人 日本建築家協会
京都商工会議所会員
一般社団法人 京都府防犯設備協会

光は、見え方を翻訳する

FKK株式会社

事業内容

LED事業部：
LED意匠・間接照明及びLED基板・電源・調光器の開発/製造/販売

PH事業部：
石油・ガス給湯、厨房、暖房用点火装置、安全装置の開発/製造/販売

WEB



アンケートの お願い

本日はFKKブースへお立ち寄りいただき、
誠にありがとうございました。
今後の製品開発の参考とさせていただくため、
右記QRコードより、ぜひご感想をお聞かせください。



ORGATEC TOKYO 2026



これまでの照明選びは、
「明るさ」や「効率」といった分かりやすい基準で、
選ばれることが多かったのではないのでしょうか。

けれど光は、
対象をどう見せたいかという意図と、
それをどう受け取られるかという関係性のあいだで、
空間や対象物の印象を変えていきます。

ひとつの答えを求めるのではなく、
その関係に目を向けてみることに。

光を通して、
見え方を自分の意思で整えていく。
本展示での体験が、そのきっかけになれば幸いです。

光を、なんとなく選ぶものから、
意図をもって設計するものへ。

本展示では、「見え方」「見られ方」という視点から、
光と印象の関係を体験いただく3つのコンテンツをご用意しました。

ORGATEC TOKYO 2026

Experience Content 1 「光と質感」

あなたの目には、どう見えますか？

同じレザー素材に異なる光をあて、質感や色見え方の違いを比較する体験です。
同じ素材であっても、光の種類によって、表情や印象は変わります。
光が、素材の見え方を左右することを実際に確かめていただきます。

見え方を変える、光のしくみ

光と物理(視覚の前提)

見え方は、光によって「制限」も「拡張」もされる

物体の色や質感は、光の波長構成(分光分布)と、物体の反射特性の組み合わせによって決まります。広い波長を含む光(例:太陽光)では、色や微細な凹凸が豊かに再現されます。一方、波長構成が異なる光では、反射される色の情報も変わるため、同じ対象物でも色や質感の見え方に違いが生まれます。



波長構成の異なる光
の下でみるレザー



広い波長を含む光(太陽光)
の下でみるレザー

あなたは、自分をどう見せたいですか？

異なる光をあてた2つのミラーの前に立ち、
肌の色やメイクの色、表情の見え方の違いを比較する体験です。
光が変わることで、顔の印象は変わります。
光が、人の印象づくりに関わっていることを実際に確かめていただきます。

見え方を変える、光のしくみ

光と知覚(人の受け取り方)

「良く見える」は、物理と心理の両方で決まる

人は、光によって生じた視覚情報を、経験や価値観と照らし合わせて解釈しています。たとえば肌の印象は、赤系の波長によって血色が再現されることで、健康的・立体的に感じられます。一方で「白い＝美しい」といった認知バイアスにより、実際とは異なる評価が生まれることもあります。



肌が白く見える顔
情報を削り、整っている印象



血色が見える顔
情報量が多く、リアルに近い印象

その色、本当にその色ですか？

一般的な屋内照明と、自然光に近い照明。
異なる2つの光の下で、ファンデーションとリップの色の見え方を比較する体験です。
まず、屋内照明の下で自分に合う色を選び、
その後、自然光に近い光の下で、選んだ色がどう見えるのかを確かめていただきます。
室内で選んだメイクや洋服の色は、外でも同じように見えているのか。
光が、色の見え方や判断を左右することを実際に確かめていただきます。

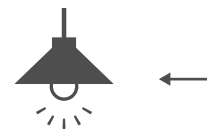
見え方を変える、光のしくみ

光と環境(見え方の変化)

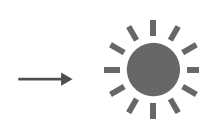
色は「どの光で見られるか」まで含めて設計する

色は固定されたものではなく、光環境によって変化する相対的な現象です。
異なる光源の下で同じ色が違って見える現象は、メタメリズム(条件等色)と呼ばれます。特に太陽光は広い波長を持つ基準光であり、その環境での見え方が、他者から見た状態に近くなります。

一般的な屋内の光



自然光に近い光



色は「もの自体」だけで
決まるのではなく、
「どんな光で見ると」
によって変わる

光の「翻訳」は、ヒトだけのものか。

自己表現から、環境との関係を目指す

サステナブルライティングの構築へ。

FKKの展示ブースでは、「光」が色や明るさだけでなく、対象の見え方や印象を左右する要素であることを体験いただきました。

対象をよりよく見せるために、光をどう扱うべきか。

その答えは、対象を最も理解し、その見え方に責任を持つ「あなた」の中にあります。

光の価値は、どう見せたいかを考え抜く意図によって生まれるものだと考えています。

また、光は人の見え方や快適性だけでなく、動植物、昆虫、鳥・魚類など、

多様な生命の行動や環境にも影響を与えます。

人にとって心地よい光が、別の存在に負荷を与えているかもしれない。

だからこそFKKは、人と周囲の環境との関係まで想像し、

光のあり方を考えることを大切にしています。

現在、専門家との共同研究を通じて、昆虫の環世界を尊重しながら、

人にも快適な光を創る技術を開発しています。

風力発電ブレードで実証中のこの技術は、

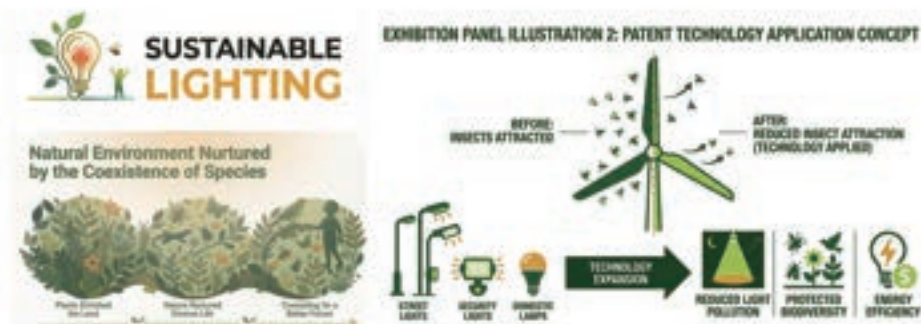
照明の色温度や波長設計への展開も視野に入れていきます。

「自然を守る」ことは、「ヒト社会の未来を守る」こと。

そうしたFKKの考え方的一端を、

オルガテック東京2026「circularMIRAI特設コーナー」でもご紹介しています。

人だけでなく、環境との関係をつくる光へ FKK サステナブルライティング



光を仕立てる、絹の白。

FKKブースの外観は、

京都室町の白生地メーカー「伊と幸」様の絹織物を用いてデザインしています。

「光を仕立てる」というコンセプトのもと、絹の白を光でどのように魅せることができるか。

同じ京都に根ざす企業の協業により、素材と光が出会うことで生まれる表情を表現しました。

● 株式会社 伊と幸 (いとこう)

伊と幸は、京都室町で1931年に創業した絹の白生地メーカーです。

図案から生糸の選定、織りに至るまで、日本の絹にこだわったものづくりを続けています。

きものの原点である白生地を通して、

絹文化を受け継ぎながら、その可能性を現代へと広げています。

● 絹の美しさを、空間にしつらえる「絹ガラス」

「絹ガラス」は、伊と幸が永年培ってきた絹の美しさを、

現代の産業技術と融合させたインテリア・建築内装資材です。

絹が持つ繊細な表情や気品を、

暮らしや空間の中にしつらえるための新しい提案として展開しています。



会社名：株式会社 伊と幸

所在地：京都市中京区御池通室町東入竜池町448-2

創業：1931年

事業内容：和装用白生地製造卸販売、及びインテリア・建築内装資材製造販売

代表者：代表取締役社長 北川 幸



ITOKO
WEB



Silk Glass
KYOTO

Silk Glass
WEB

